

発行元:(農)のきの郷
安来市利弘町 922-3
Tel/Fax:22-2580
発行責任者:河津 一行



第 17 号 千 町 田



代表理事
山本 耕一

あけましておめでとうございませ
今年もよろしくお願いいたします



新たな年を迎え皆様にはますます
すご清栄のこととお慶び申し上げ
ます。また旧年中は皆様方に多大
なるご協力いただきましたこと厚
く御礼を申し上げます。
平成27年度は幸いに黒字決算で
終えることが出来ました。しかし
その内容は営業(農業)収益がマ
イナスとなり、その補填は営業外
収益(政府交付金)に頼っていま
す。米価低迷する中でこの状況は
常態化しつつあります。このまま
交付金に頼って先行きが不
透明な農政の環境下において非常
に苦しく暗いものになると推測し
ます。経営改善を図るなかで経費
削減などに取組んでいきますがこ
れには限界があります。改善を図
るとは、その思いに夢を描き、描
いた絵を計画・実行に移行して具
現化することにあります。しかし

それは投資なくして実行は難しい
ものと考えます。大型農業機械を
整備する目的での営農組合設立当
初の多額な借入金もあと二年で返
済を終えます。これが企画部を創
設し新規事業への思い・夢を描い
てきたものを事業展開するタイミ
ングと考えます。魅力ある事業導
入はおのずから地域の活性化と世
交代を円滑に結びつけるものと
考え積極的にアプローチ
していきます。草木
は冬季に低温にさ
らされ気温上昇と
共に花芽が成長し
て開花しますが、冬
暖かすぎると開花
の時期に変調をき
たします。のきの郷
もこれからが時期到
来と考え雇用の創出
と農業経営をより一層強
固にすることが必要不可欠です。
皆様のご理解ご協力をお願いいた
します。



副代表理事
河津 一行

のきの郷の設立から丸3年の月
日が経とうとしています。この期
間何が変わったかを考えてみる
と何も変わっていないように思い
ます。作業者の高齢化、担い手不
足は全国的な問題ですが当法人も
例外ではありません。また助成金
に頼らざるを得ない経営も相変わ
らずです。そんな中、本年度は新
事業にも取組み収益力を向上させ
なければならぬと考えています。
そのためには、まず「人」です。



優秀な若い力
を結集する体
制を作ること
が今の私の課
題だと思っ
ています。人を
育てるために
は時間も経費
もかかります
がそれに背を向けてはのきの
郷の将来はないと考えま
す。前途多難とは思いますが、皆
様のご理解をお願いいたします。



副代表理事
佐伯 正志

組合員の皆様にはますます清栄
のこととお慶び申し上げます。圃
場整備も完成し大型化された圃場
での作業にもだいぶ慣れてきたこ
とと思いますが、そういう時こそ
安全第一で取り組まなければなり
ません。昨年度より導入している
危険予知活動をより活用推進し、
圃場内の事故はもとより移動時の
交通事故なども未然に防止するよ
う努めなければなりません。また
体調なども考慮し、無理のない作
業計画が重要になってきます。昨
年は安全衛生教育の一環として刈
払機取扱作業教育を10名受講し
ています。草刈り作業におきま
しては受講者の指導のもと安全作
業に努めていただきますようよろ
しくお願いいたします。また今年も
湧水対策が必要になると思われま
すので、5工区の代かき水の有効
利用並びに全圃場の水管理の
徹底を推進したいと思いま
すのでご協力をお願い
いたします。



あかつきファーム今在家視察

企画部長 坂田宣雄

平成27年12月17日出雲市斐川町今在家に「農事組合法人あかつきファーム今在家」を訪問しました。同法人は島根県で最初の平成15年3月に法人化された組合です。概要は組合員数83名、経営面積76ha、主力作物は水稻で特産物栽培にも取り組んでいる法人であり、のきの郷の規模のほぼ半数であります。あかつきファーム今在家の特徴と



して特産品栽培があり特にブドウ、イチゴを中心に栽培し、観光農園としての成果もあがっています。春には斐川町のチューリップ祭りに協賛し地区内での観光にも一役買っておられます。

今回の視察研修では特に「出役」について協議いたしました。問題点には組合員の高齢化による出役者の減少があり、特産品栽培にかかわる若手専門職員の採用、人材バンク活

用などで乗り切っておられるということで大変参考になりました。のきの郷でも若手専門職員の確保については、今後の大きなテーマと感じました。

いらっしやいませ（視察）

1月27日 出雲農林高校
美味しまね認証
1月29日 農水省農地資源課
石橋課長様 他
圃場整備事業



間に化けて酒屋に行つて酒を飲んじよつたと。ある晩荒島の岩田という親方との寅さんが歩いちよつたら「おい、寅

公」と呼び止める人がおつて見ると人間に化けた源太郎ぎつねがおつたと。「なんだ源さんか。なんか用かいね」「お前さん毎日仕事かえらかろう。今夜はおらがおごちゃあけん安来に行かこい。」と誘つたすこだ。寅さんは「そらよからそやい。行くで」と二人で安来の料理屋でこつとおを食べお酒を飲んでそのまま寝込んでしまったと。朝になり目を覚ました寅さんがあわてて帰つたけん女中さんはもう一人のお客はどげしちようかと部屋に行くとキツネが寝ちよるのを見ておべてしまつてがいな声で騒ぐだけん源太郎ぎつねはあわてて部屋をとんで出て帰つて行つたげな。』

その他に日露戦争の

とき戦場で源太郎ぎつねに助けられたという話もありました。不思議ですね。



ちよっこし聞いて今年もよろしくお願ひします(や)

通常総会の知らせ

第3期通常総会を左記日程にて開催いたします。組合員の皆様からの幅広いご意見や感想をいただき今後の経営方針など決定していきますので多数のご参加をお願いいたします。

- ・ 監査会 1月30日(土)
- ・ 資料配布 2月6日予定
- ・ 通常総会 2月14日(日) 午後2時より
- ・ 総会会場 能義交流センター

地域探訪

幼いころ昔語りで源太郎ぎつねの話を知り、吹雪のなか飯生から赤崎の道を源太郎ぎつねに化かされて違つところを歩かされた、というよくな自分が間違えただけじゃないの?といった話が多かったので『能義郷土史』でちよつとかわいらしい源太郎ぎつねの話を見つけたので出雲弁に変換して紹介します。

『源太郎ぎつねは人間に化けるのがとても上手で酒が欲しなると人

一口メモ

2月3日は節分です。節分は邪気(鬼)を払うということと豆まきをしますが、鬼ってどうして角があつてトラのパンツをはいているのでしょうか。それは「鬼門」に由来するそうです。「鬼門」は鬼の出入りする方で「北東(良)・南西(丑)・東の間」になります。そのため、古来鬼は「牛」の角をもつた姿で「虎」のパンツを身に付けているといわれています。